



人を感じる。未来を想う。

SENSING
& CONTROL
+ THINK

OMRON

ニューノーマル時代のよりよい社会づくりを目指す オムロンの企業理念経営

オムロン株式会社（証券コード: 6645）

2021年2月27日

目次

1. オムロンについて	P. 3
--------------------	------

2. オムロンの企業理念経営	P. 8
-----------------------	------

3. ニューノーマル時代のよりよい社会づくり	P. 16
-------------------------------	-------

4. 資本政策	P. 29
----------------	-------

1. オムロンについて

オムロンの概要

創業

87年

2020年12月末時点

本社所在地

京都市

グループ会社数

148社

2020年12月末時点

事業展開国/地域

約120

2020年12月末時点

売上高

6,780億円

2020年3月末時点

売上総利益率

44.8%

2020年3月末時点

時価総額

1.8兆円

2020年12月末時点

グループ社員数

2.8万人

2020年3月末時点

オムロンの事業内容と売上構成

ヘルスケア事業

家庭での健康管理から医療現場まで
健康な暮らしをトータルにサポート
(電子血圧計、体温計など)



社会システム事業

快適で安全な社会生活を目指し
社会インフラのための多様なシステムを提供
(自動改札機・券売機、太陽光発電
用パワーコンディショナーなど)



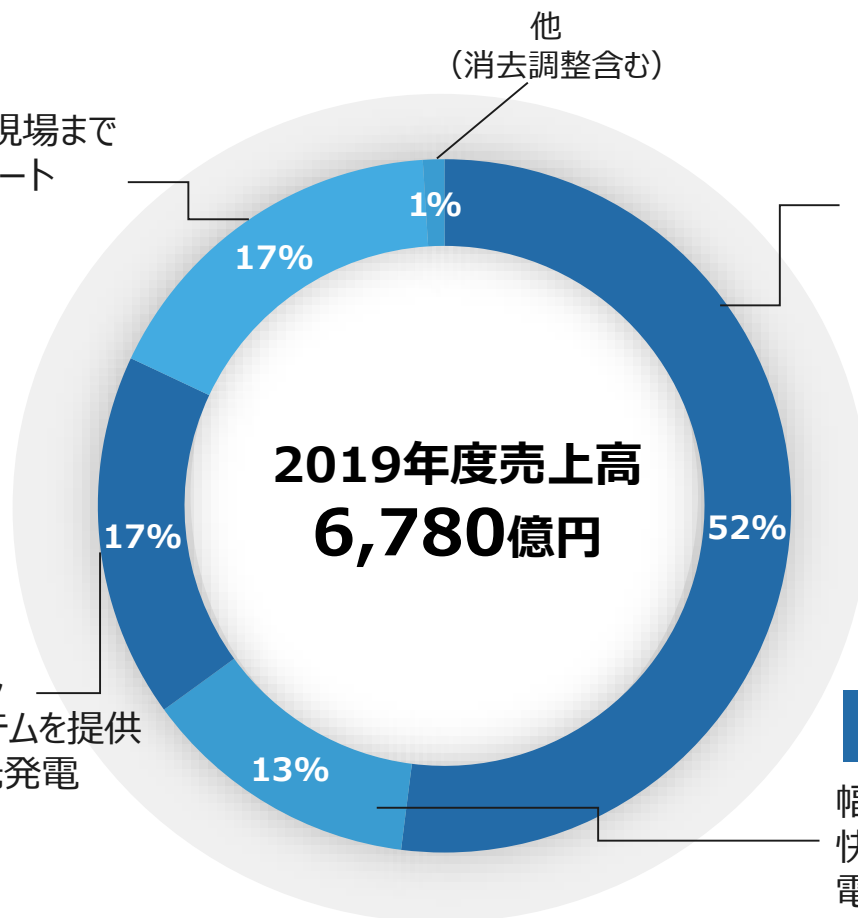
制御機器事業

工場の自動化により、世界のモノ
づくり革新をリードするオムロンの
主力事業 (センサー、コントロー
ル機器、ロボットなど)



電子部品事業

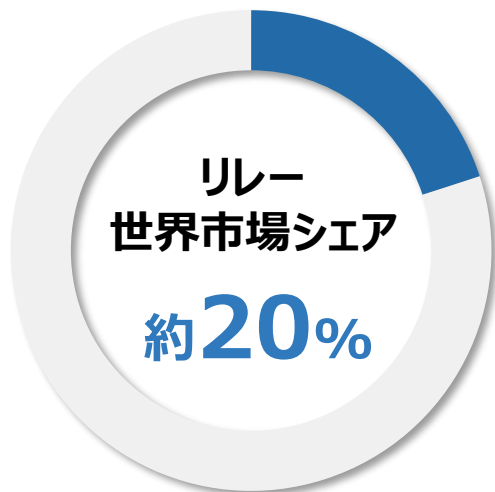
幅広い分野で人と機械を
快適につなげる先進的な
電子部品を提供 (リレー、スイッチなど)



ユニークなセグメントで高いシェアを誇る事業群



制御機器事業



電子部品事業



ヘルスケア事業



社会システム事業

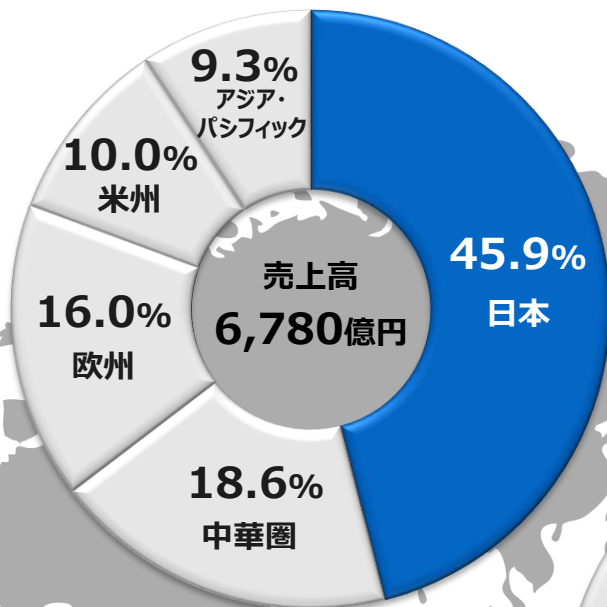


社会システム事業

2020年3月末時点
(出所：NECA、当社調べ)

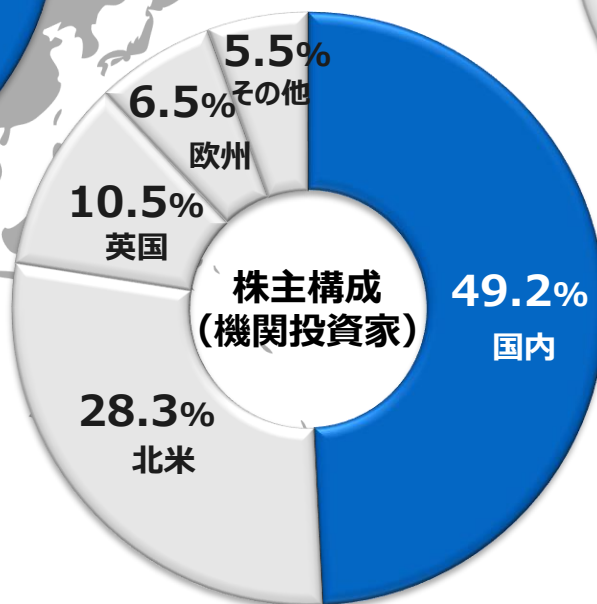
グローバルに広がるステークホルダー

約6割が海外売上
(売上高構成比)



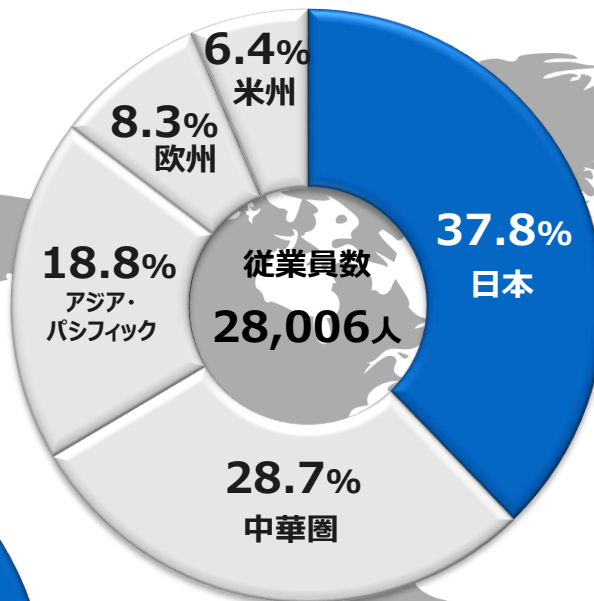
2020年3月期・連結

約半数が海外株主
(株主構成比)



2020年3月末現在

約7割が日本人以外
(従業員比率)



2020年3月末現在

2. オムロンの企業理念経営

オムロンが創業以来受け継ぐDNA

創業者 立石一真が1959年に会社の憲法「社憲」を制定。
「事業を通じて社会的課題を解決すること」を使命とし、成長の原動力としてきた。

【社憲】

“われわれの働きで われわれの生活を向上し よりよい社会をつくりましょう”

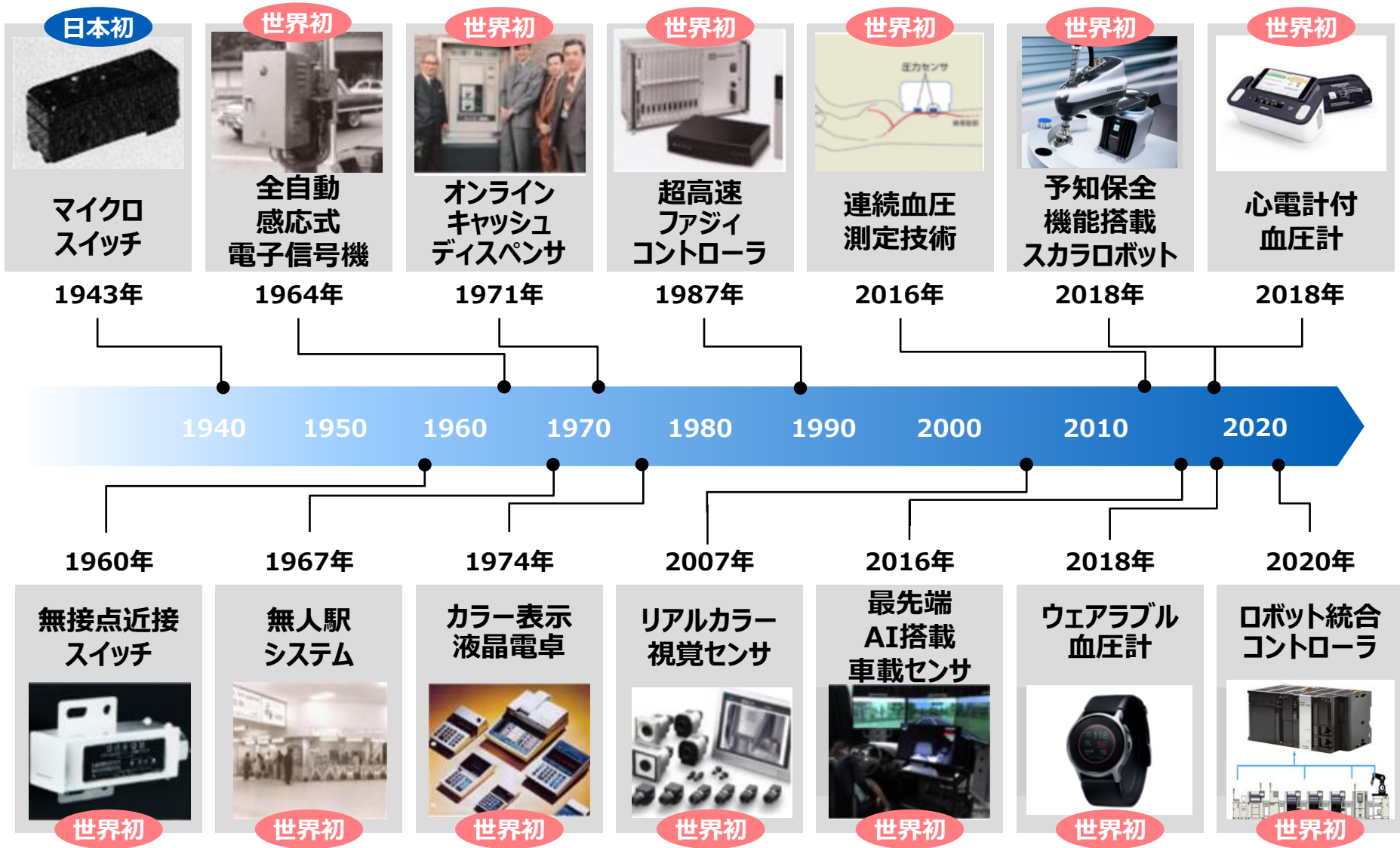


創業者 立石一真
(1900～1991)

創業者が社憲に込めた思い

- ・ 企業の公器性
- ・ 自らが社会を変える
“先駆け”になる決意

オムロンの歴史は「ソーシャルニーズ創造」の歴史



最新の代表的なイノベーション

オムロンが独自開発した世界初のウェアラブル血圧計「ハートガイド」。
世界最大のデジタル技術見本市、「CES」で2019年に最優秀賞を受賞。
米TIME誌の「2019年の発明品ベスト100」にも選定。



北米 FDA認可取得
日本 薬事承認取得

社憲の精神を企業理念として現在に受け継ぐ

Our Mission

(社憲)

われわれの働きで われわれの生活を向上し よりよい社会をつくりましょう

Our Values

私たちが大切にする価値観

・ソーシャルニーズの創造

私たちは、世に先駆けて新たな価値を創造し続けます。

・絶えざるチャレンジ

私たちは、失敗を恐れず情熱をもって挑戦し続けます。

・人間性の尊重

私たちは、誠実であることを誇りとし、人間の可能性を信じ続けます。

企業理念に基づく経営の構造 = 「企業理念経営」

「企業理念」

変わることのない、わたしたちの判断や行動の
拠り所であり、求心力であり、発展の原動力。

「経営のスタンス」

私たちは、「企業は社会の公器である」との基本的考えのもと、
企業理念の実践を通じて、持続的な企業価値の向上を目指します。

長期ビジョンを掲げ、
事業を通じて社会的課題を
解決します。

長期ビジョン 「VG2020」

10年先を見据え、よりよい社会を
つくるオムロンの強い意志を示した
長期ビジョン。

真のグローバル企業を目指し、
公正かつ透明性の高い経営を
実現します。

オムロングループ マネジメントポリシー

多様な価値観を持った社員が、
グローバルに一体感を持ちながらも、
一人ひとりが自律的に考え行動する
ためのグループ全体の運営ポリシー。

すべてのステークホルダーと
責任ある対話を行い、
強固な信頼関係を構築します。

ステークホルダー エンゲージメント

価値伝達を通じてブランド価値高め
続けることで、世界中から最良の
経営資本を集める。

10年後の未来を見据えた長期ビジョンに基づいた経営計画

コロナショックがもたらした社会変化を次期長期ビジョンに反映するため、FY20とFY21を事業変革期と位置づけ。次期長期ビジョンをFY22からスタート。



中期経営計画「VG2.0」

中期経営計画の業績目標・事業戦略とサステナビリティ重要課題を連鎖

企業理念

中期経営計画 VG2.0


業績目標・事業戦略

サステナビリティ重要課題

質量兼備の地球価値創造企業



3. ニューノーマル時代のよりよい社会づくり



ファクトリーオートメーション



ヘルスケア

ファクトリーオートメーション事業のビジョン



**オートメーションでモノづくりを革新し、
世界中の人々を豊かにする**



i-Automation!

ニューノーマル時代のモノづくりを取り巻く環境の変化

モノづくり現場は、生産の高度化や分散化の加速によって変革期を迎えている。
この変化を受けて、ニューノーマル時代の生産現場で新しい事業機会が生まれている。

作業者への依存を
減らす新しい自動化

地産地消の
加速による
生産拠点の分散

小型・高性能化が進む
電子基板の高密度実装
(ex. 5G, EV/ADAS)



作業者への依存を減らす新しい自動化



 **ファクトリーオートメーション**

 **ヘルスケア**

“ホームメディカルケア”に特化したオムロンのヘルスケア事業

世界規模の市場を擁し、オムロンが圧倒的な強みを持つ3領域を中心に、家庭でのパーソナライズ医療の実現を通じて“よりよい社会”の実現を目指す。

循環器疾患

脳・心血管疾患の
発症ゼロを目指す



グローバル
シェアNo.1

呼吸器疾患

小児ぜんそく患者の
重症化ゼロを目指す



グローバル
シェアNo.1

ペインマネジメント

薬の力を借りずに
痛みの緩和を目指す



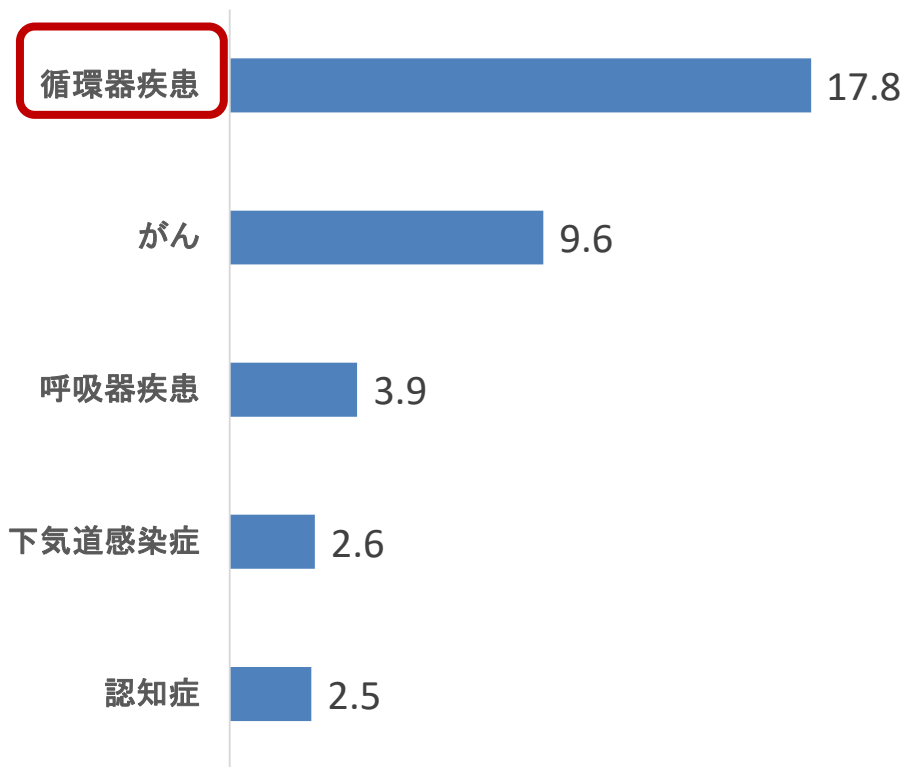
グローバル
シェアNo.1

循環器疾患に対するソリューションの重要性

循環器疾患は、世界の疾患別死亡原因（非感染症）の第1位。
患者数は、中国・インドを筆頭に2030年までに更に拡大する見込み。

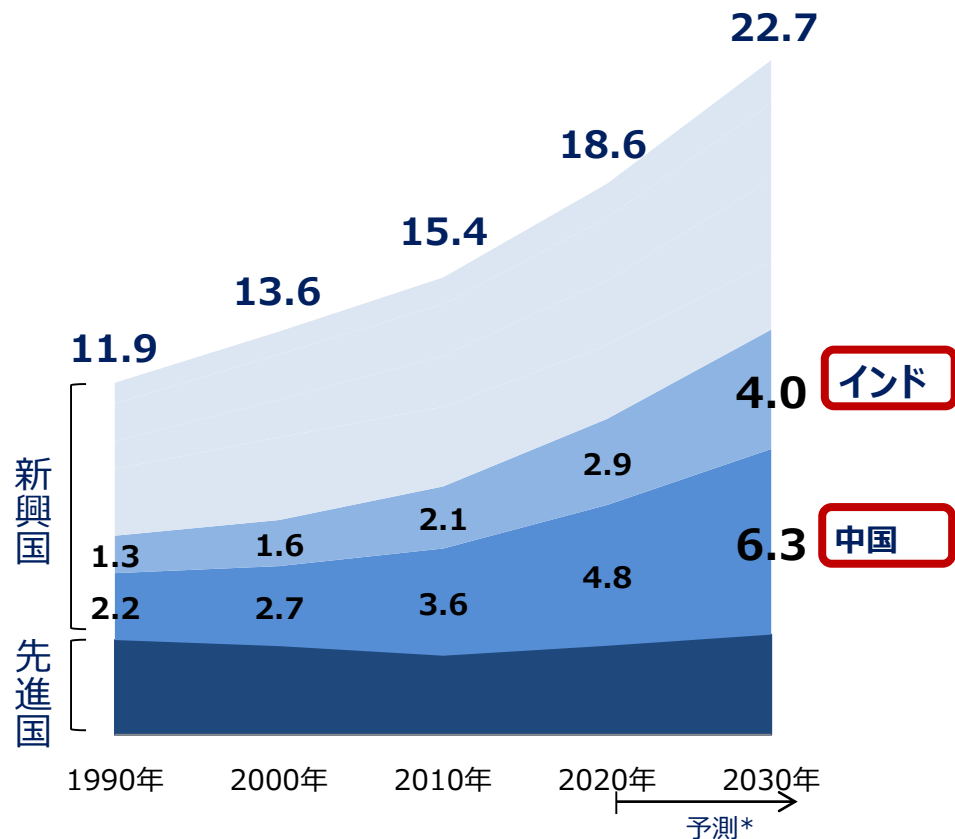
2017年 疾患別死亡者数（グローバル）

(百万人)



心血管疾患による死亡者数の推移

(百万人)



出典：Global Burden of Disease Collaborative Network 2018
※ 予測値は2018年までのトレンドに基づき自社で算出



オムロン ヘルスケアは『**ゼロイベント**』を目指します。

『**ゼロイベント**』とは、**脳卒中**や**心筋梗塞**など、**高血圧が原因**で起こる、**生死につながり寝たきり**などの原因となる**疾患（イベント）**を、**ゼロ**にすること。

オムロンの遠隔診療サービス

家庭で測定した血圧や心電などのデータと解析結果を、スマートフォンを経由して病院の医師と共有することで、適切な診療を実現する。

家庭

日常生活下での血圧/心電の測定



腕時計型の血圧計

心電計付血圧計
(血圧測定時に
心電図をとることが可能)



測定データ
・解析結果



病院

家庭での測定データと
AIを用いた解析結果を医師が確認



診断・治療



米国における遠隔診療サービス



**Proactive
Treatment**

**地球上の一人ひとりの健康で
すこやかな生活への貢献**

All for Healthcare

4. 資本政策

資本政策の基本方針

利益配分の優先順位は、①将来の成長に向けた投資、②配当、③自己株式取得

将来の成長に向けた投資

FA、ヘルスケアを中心に、成長投資(M&A)、研究開発費、設備投資に振り向ける

配当

年間配当は配当性向30%程度、株主資本配当率(DOE)3%程度を目安として決定する

自己株式取得

長期にわたり留保された余剰資金は、機動的に自己株式の取得を実施

最後に

当社のウェブサイトを是非ご覧ください！
当社をご理解頂くための様々な情報を掲載しております

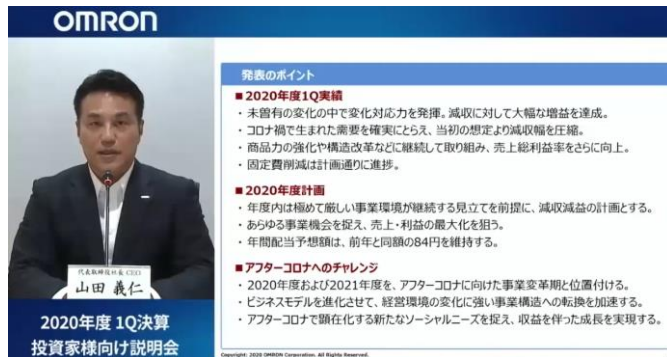
オムロン IR

検索



<IR情報の例>

決算説明会動画



ESG説明会資料



- ▶ プレゼンテーション資料 統合版 スクリプトなし <PDF 3.7MB>
- ▶ プレゼンテーション資料 統合版 スクリプトつき <PDF 3.5MB>
- ▶ Q&A <PDF 388kb>

統合レポート



オムロンの企業理念経営：事業を通じて社会に貢献する



OMRON

＜ I Rに関するお問い合わせ＞

オムロン株式会社

グローバルインベスター & ブランドコミュニケーション本部 IR部

電話 : 03-6718-3421

E-mail : omron-ir@omron.com

Webサイト : www.omron.co.jp

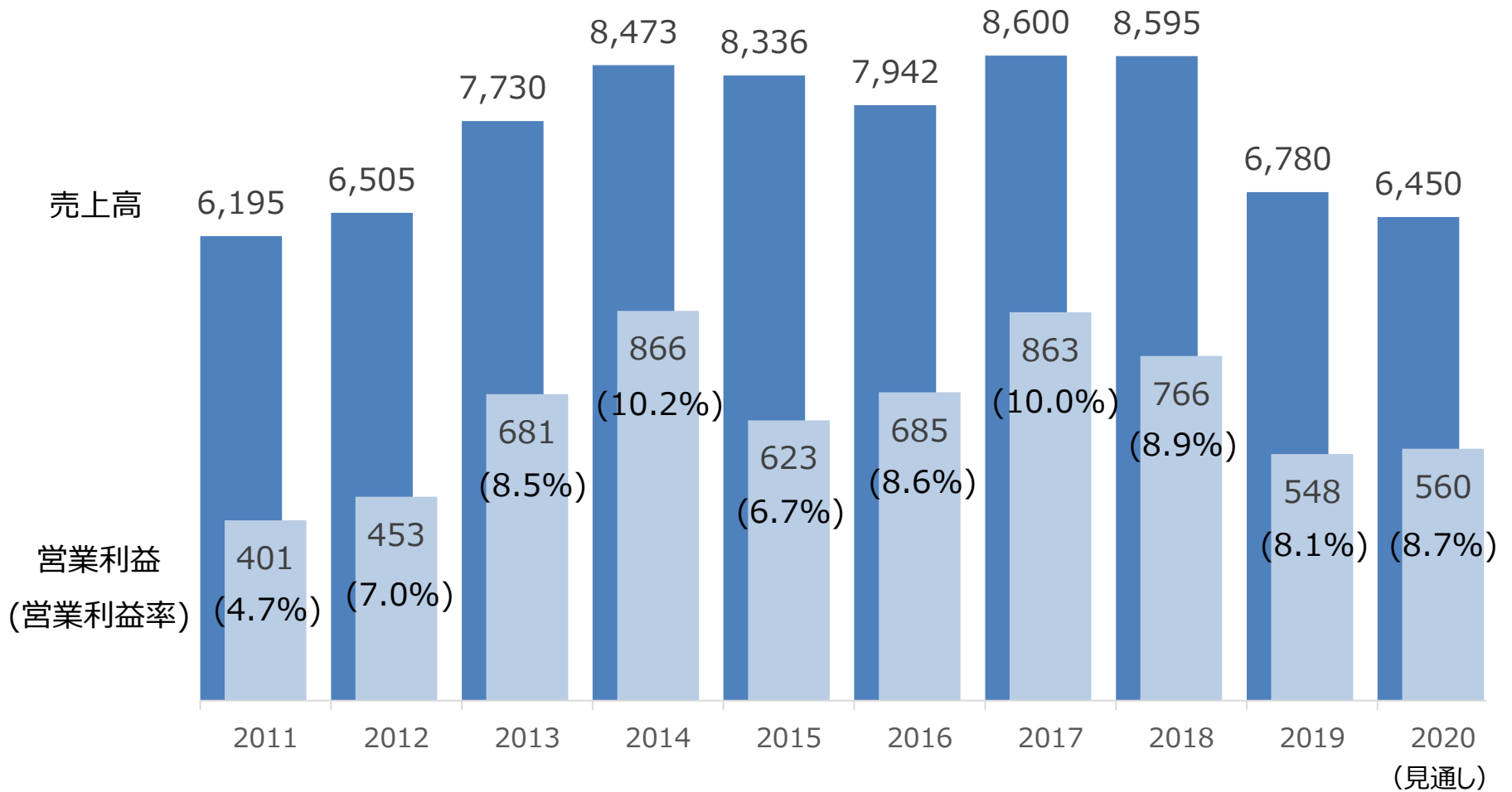
＜免責事項＞

本資料で記述している将来の業績予想は、現時点で入手可能な情報にもとづき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、様々な要因の変化により実際の業績が記述している予想とは大きく異なる結果となる可能性があることを御承知おき下さい。

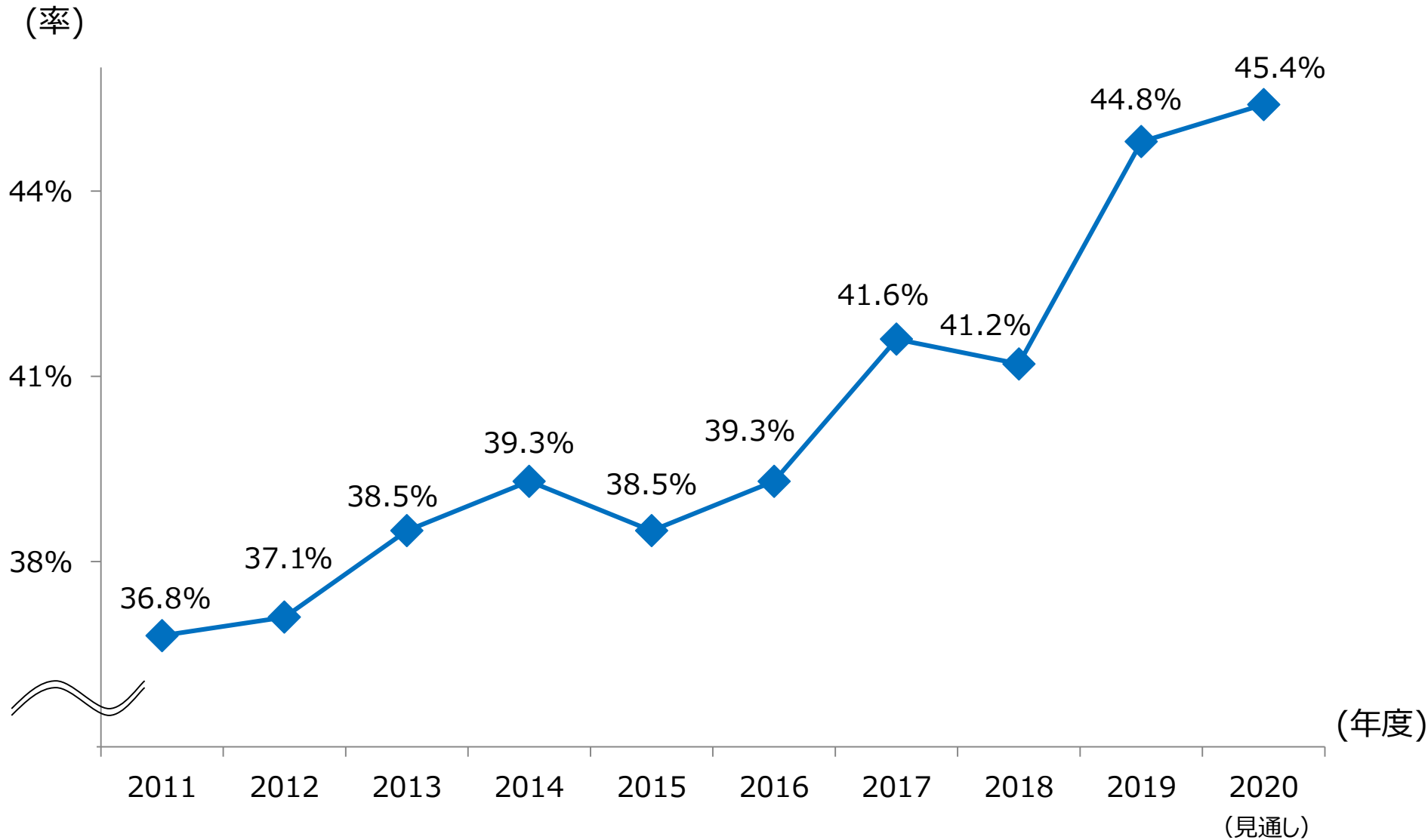
Appendix

業績の推移

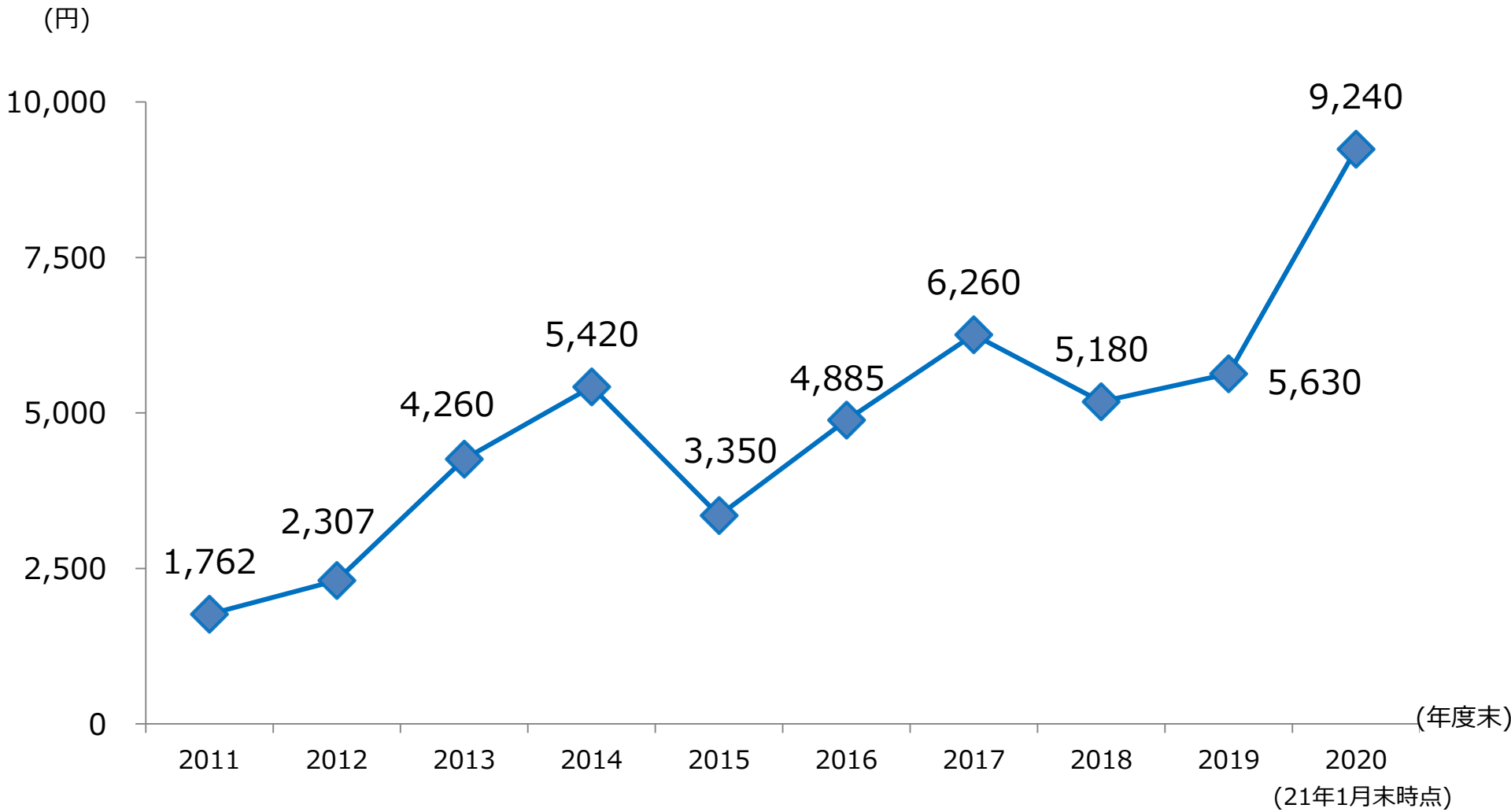


※2019年度に車載事業を売却 (参考：2018年度 売上高1,305億円、営業利益63億円)

売上総利益率の推移

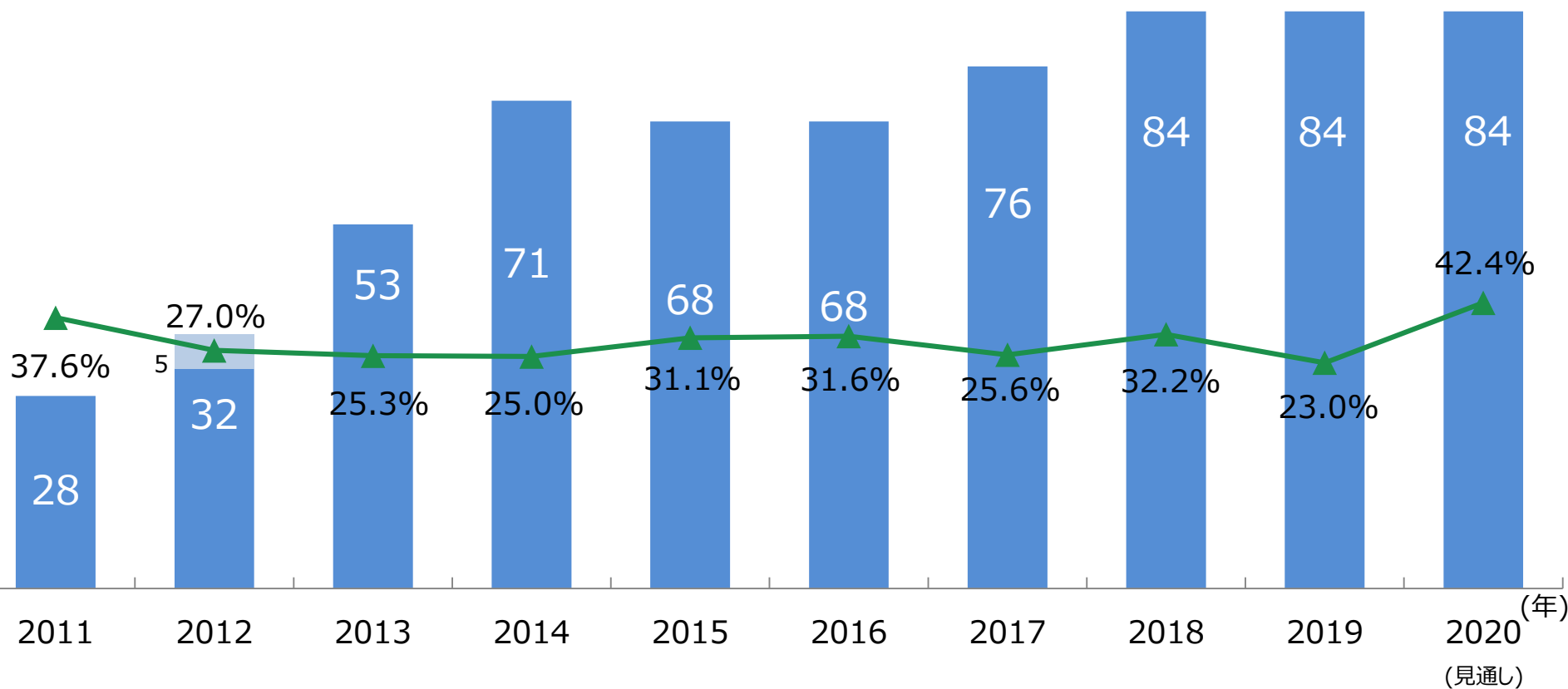


株価の推移



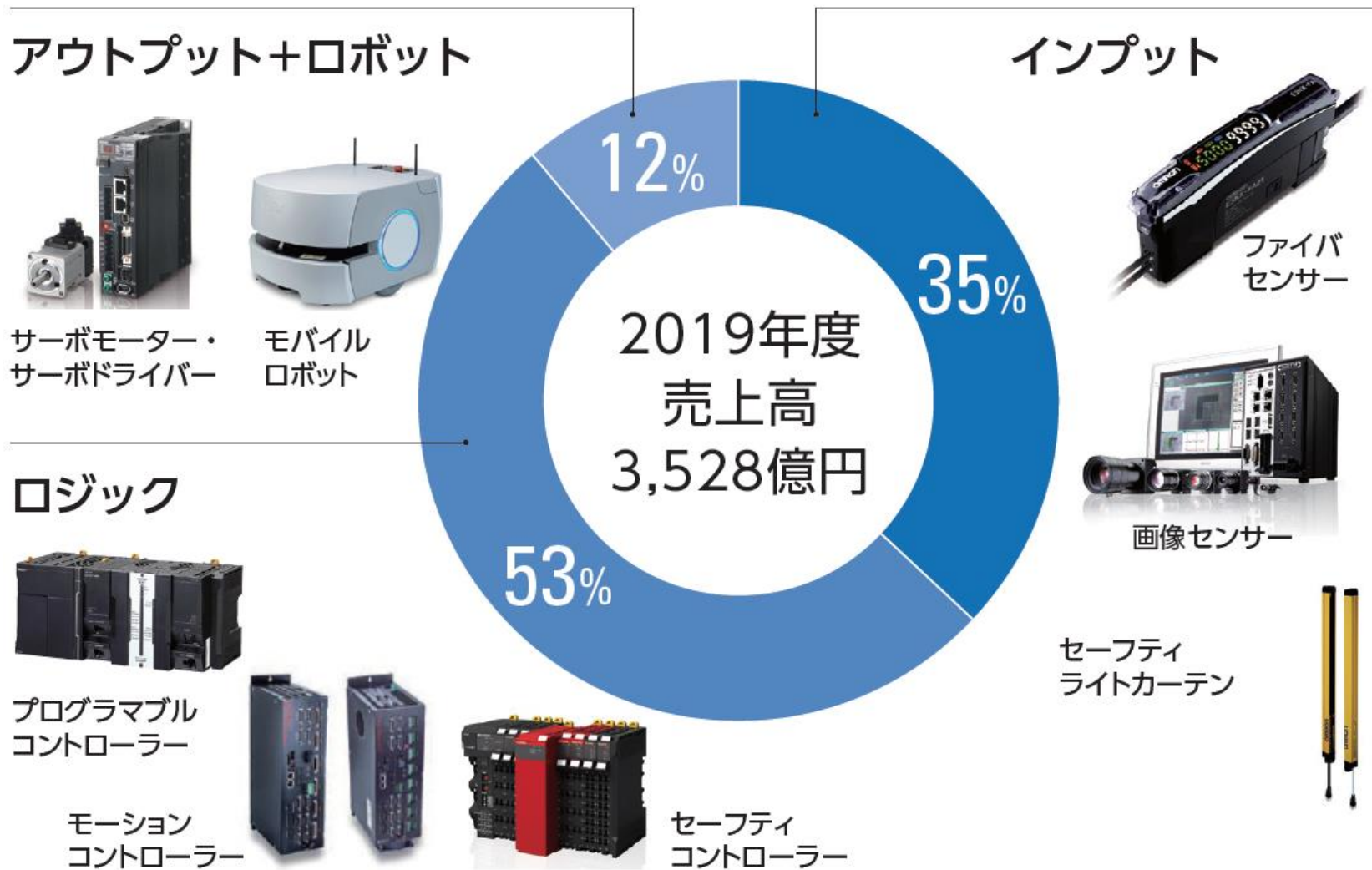
年間配当額と配当性向の推移

■ 普通配当 (円) ■ 記念配当 (円) ▲ 配当性向 (%)

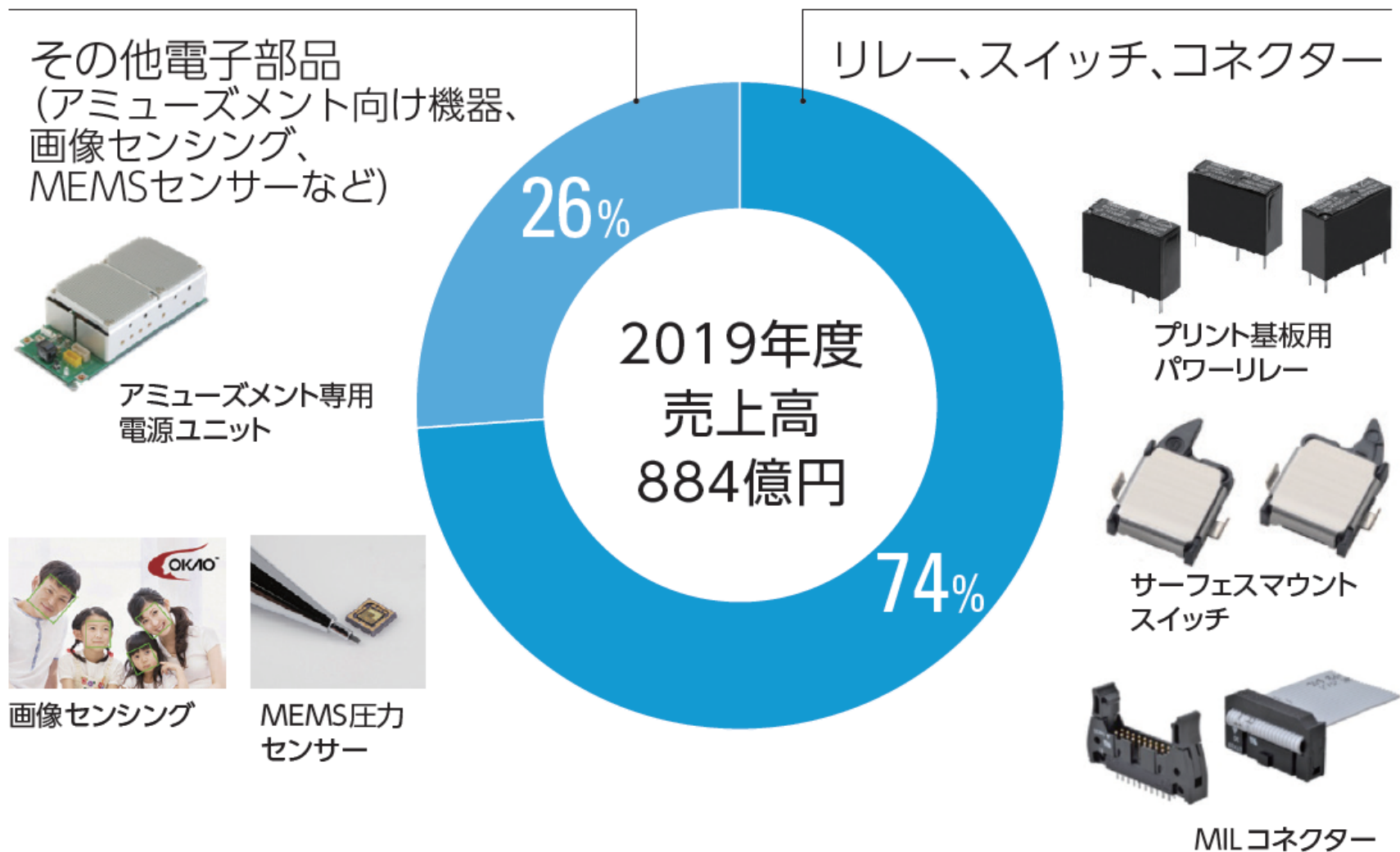


制御機器事業

■ 商品別売上構成比

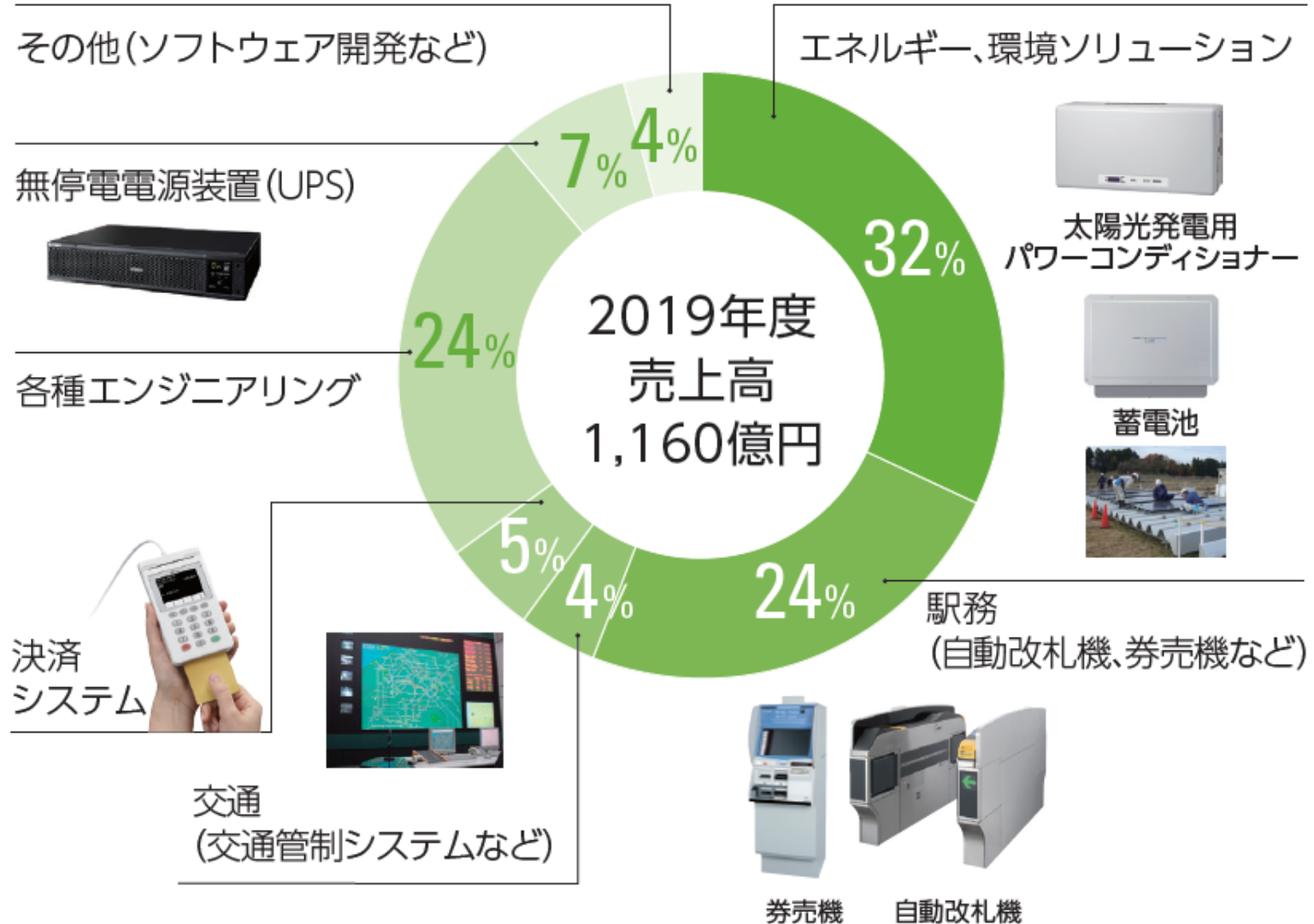


商品別売上構成比



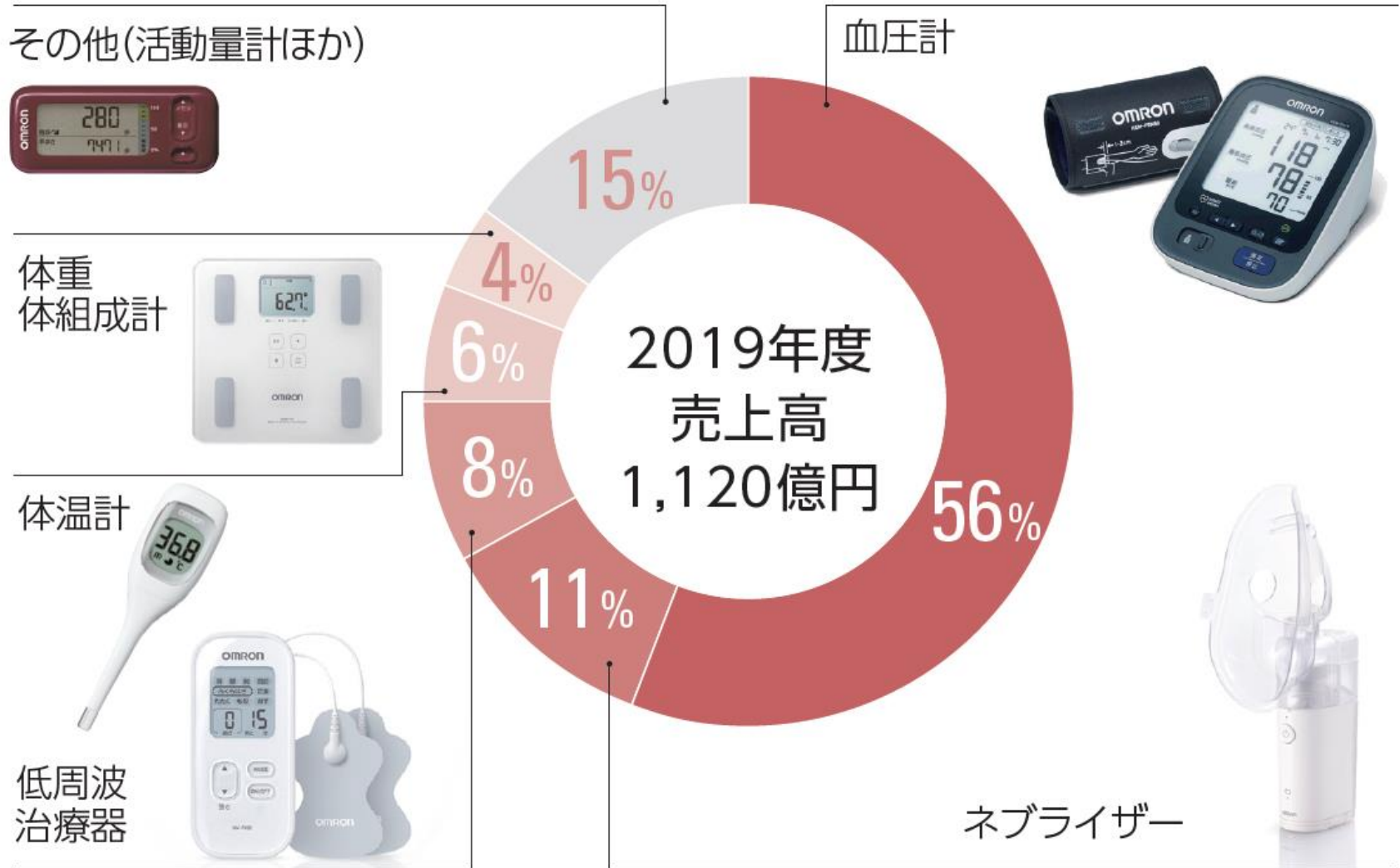
社会システム事業

■ 商品別売上構成比



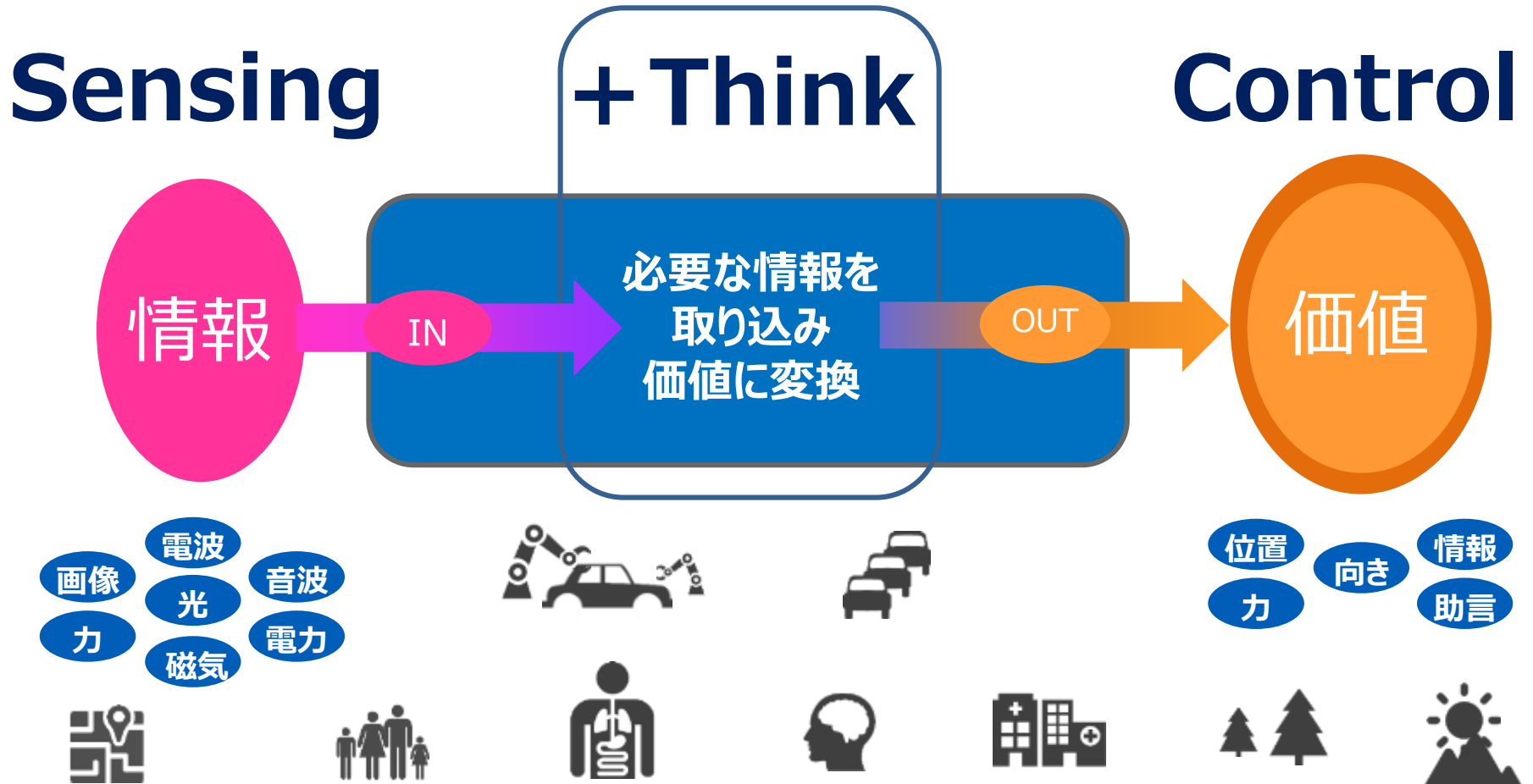
ヘルスケア事業

■ 商品別売上構成比



オムロンのコア技術

センシング & コントロール+Thinkは、
「情報」を独自のアルゴリズムで「価値」に変換するオムロンのコア技術



ファクトリーオートメーション事業の強み

20万機種を越える豊富な商品 × 170に及ぶ制御アプリ技術の摺合せ



ヘルスケア事業の強み（血圧計事業）

消費者向け医療機器である家庭用血圧計市場で、
グローバルシェアNo1（50%*）を獲得。

オムロンの強み

医学界からの高い信頼

- ・研究論文でのオムロン血圧計採用数No.1

グローバルチャネル基盤

- ・取扱い薬局店舗数
FY16 50万軒 → FY20 56万軒
- ・売上に占めるオンラインチャネル構成比
FY16 15% → FY20 25%

グローバルでの許認可取得体制

- ・許認可取得国数 90カ国

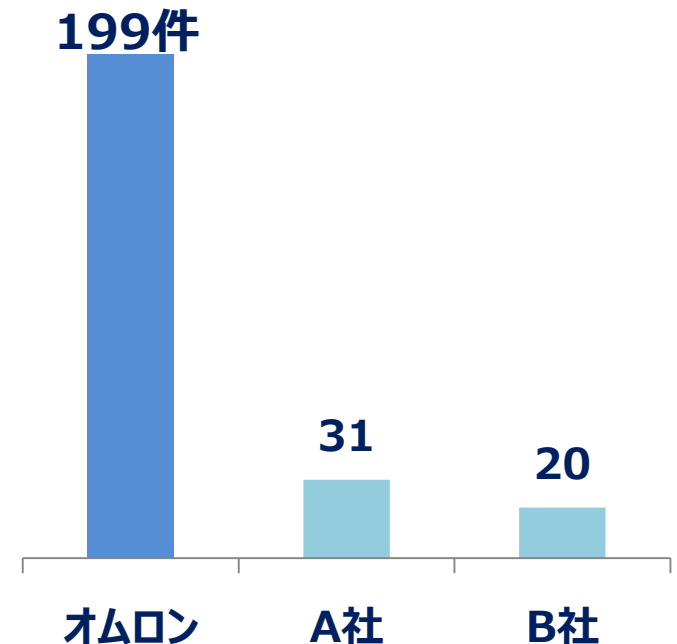
* 自社調べ

** 抽出条件：“家庭血圧”をベースに白衣高血圧、仮面高血圧を含むキーワードでPubMedから検索。

主要6誌：Circulation、Hypertension、J Hypertension、J Hum Hypertens.、Am J Hypertens. Blood Press. Monit. の研究論文のみ対象

期間：2000年～2018年11月

研究論文での オムロン血圧計の採用件数**



20年度第3四半期決算発表時点 全社見通し（PL主要指標）

（億円）

	2020年度 前回見通し	2020年度 今回見通し	前回見通し比・差	2019年度 実績	前年度比・差
売上高	6,200	6,450	+4.0%	6,780	△4.9%
売上総利益 (売上総利益率)	2,795 (45.1%)	2,930 (45.4%)	+4.8% (+0.3P)	3,037 (44.8%)	△3.5% (+0.6P)
営業利益 (営業利益率)	400 (6.5%)	560 (8.7%)	+40.0% (+2.2P)	548 (8.1%)	+2.3% (+0.6P)
当期純利益	240	400	+66.7%	392	+2.1%
米ドル 平均レート (円)	105.9	105.9	△0.0	109.1	△3.2
ユーロ 平均レート (円)	122.5	122.4	△0.1	121.2	+1.2
人民元 平均レート (円)	15.2	15.3	+0.1	15.7	△0.4

※前回見通しは、20年度第2四半期決算発表時点の見通し

20年度第3四半期決算発表時点 セグメント別見通し（売上）

（億円）

	2020年度 前回見通し	2020年度 今回見通し	前回見通し比	2019年度 実績	前年度比
制御機器事業 (IAB)	3,220	3,400	+5.6%	3,528	△3.6%
電子部品事業 (EMC)	810	840	+3.7%	884	△4.9%
社会システム事業 (SSB)	930	930	±0.0%	1,160	△19.8%
ヘルスケア事業 (HCB)	1,190	1,220	+2.5%	1,120	+8.9%
本社他（消去調整含む）	50	60	+20.0%	89	△32.2%
合計	6,200	6,450	+4.0%	6,780	△4.9%

※前回見通しは、20年度第2四半期決算発表時点の見通し

20年度第3四半期決算発表時点 セグメント別見通し（営業利益）

（億円、%：営業利益率）

	2020年度 前回見通し	2020年度 今回見通し	前回見通し差
制御機器事業 (IAB)	440 (13.7%)	550 (16.2%)	+110 (+2.5P)
電子部品事業 (EMC)	10 (1.2%)	25 (3.0%)	+15 (+1.7P)
社会システム事業 (SSB)	50 (5.4%)	50 (5.4%)	±0 (±0.0P)
ヘルスケア事業 (HCB)	170 (14.3%)	200 (16.4%)	+30 (+2.1P)
本社他 (消去調整含む)	△ 270	△ 265	+5
合計	400 (6.5%)	560 (8.7%)	+160 (+2.2P)

2019年度 実績	前年度差
536 (15.2%)	+14 (+1.0P)
9 (1.0%)	+16 (+1.9P)
109 (9.4%)	△59 (△4.0P)
135 (12.1%)	+65 (+4.3P)
△ 241	△24
548 (8.1%)	+12 (+0.6P)

※前回見通しは、20年度第2四半期決算発表時点の見通し